

「中国地方整備局事業評価監視委員会」議事要旨

件名	平成22年度 第1回中国地方整備局事業評価監視委員会
日時	平成22年7月27日（火） 13:30～16:00
場所	広島市中区上八丁堀6-30 中国地方整備局 合同庁舎2号館 8階会議室
出席者	◆委員（敬称略、順不同） 尾島 勝（委員長）、藤原 章正（副委員長）、阿部 宏史、沖 陽子、 鎌倉 秀章、作野 広和、清水 則一、杵見 吉晴、山田 知子 ◆整備局 局長、副局長（2名）、企画部長、河川部長、港湾空港部長 他
配布資料	■平成22年度 第1回中国地方整備局事業評価監視委員会 議事次第 第1回中国地方整備局事業評価監視委員会 配席表 中国地方整備局事業評価監視委員会規則 中国地方整備局事業評価監視委員会運営要領 中国地方整備局事業評価監視委員会運営要領（改定案） ■資料一覧表 資料-1 中国地方整備局事業評価監視委員会名簿 資料-2 平成22年度 第1回中国地方整備局事業評価監視委員会審議一覧表 資料-3 平成22年度 第1回中国地方整備局事業評価監視委員会対象事業位置図 資料-4 港湾関係の評価項目調書 資料-5 河川関係の評価項目調書 資料-6 ダム等の管理に係るフォローアップ制度を活用した事業について
議事要旨	1. 開 会 2. 評価対象事業の審議 以下のとおり、事業評価対象3事業を審議した。 ◇港湾事業 再評価対象事業：鳥取港 ^{せんだい} 千代地区防波堤整備事業 ◇河川事業 事後評価対象事業：江の川 ^{ごうのかわ} 上流水防災対策特定河川事業（梶矢 ^{かじや} 地区） 太田川 ^{おおたがわ} 床上浸水対策特別緊急事業（出島 ^{でしま} 地区） 3. ダム等の管理に係るフォローアップ制度を活用した事業の報告 以下の事業について報告した。 ◇ダム事業 とまた ^{とまた} 苫田ダム建設事業 やさか ^{やさか} 弥栄ダムダム湖活用環境整備事業 ○経緯及び結果 別紙-1のとおりに

平成22年度 第1回中国地方整備局事業評価監視委員会の経緯及び結果

1. 審議の経緯

平成22年7月27日に開催した平成22年度第1回中国地方整備局事業評価監視委員会において、次の事業について審議を行った。

◇港湾事業

再評価対象事業：鳥取港千代地区防波堤整備事業

◇河川事業

事後評価対象事業：江の川上流水防災対策特定河川事業（梶矢地区）
太田川床上浸水対策特別緊急事業（出島地区）

2. 審議の結果

事業者から各事業の概要、評価結果及び対応方針（原案又は案）について説明を受け、事業が適切に実施されているか審議を行い、次のとおり意見の取りまとめを行った。

審議の結果、再評価対象の1事業は適切に実施されており、事業継続とすることとした事業者の判断は、妥当であると意見集約した。

また、事後評価対象の2事業は、事業の効果が発現しており、当該事業に関しては、今後の事後評価と改善措置は必要ないとした事業者の判断は、妥当であると意見集約した。

なお、審議過程において、以下の議論があった。

●事業評価対象事業

◇港湾事業

○鳥取港^{せんだい}千代地区防波堤整備事業

- ・コスト縮減のみならず、環境保全の観点からも海砂に代えニッケルスラグを中詰材として活用していることを明記すべき。

◇河川事業

○江の川^{こうのかわ}上流水防災対策特定河川事業（^{かじや}梶矢地区）

- ・今後、河川環境に対してだけでなく、広い範囲での環境に対する影響についても補足的な説明を行うべき。

○太田川^{おおたがわ}床上浸水対策特別緊急事業（^{でしま}出島地区）

- ・特になし

以 上